

# 新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症流行期における 車いすのポジショニング基本スキル

窓を開け、換気と体の保温など、環境を調整する 全身状態の観察  
実施は、接触・飛沫感染のリスクを考え、退避行動に心がける

## 標準予防策、手指衛生（手洗い・アルコール）

＊厚生労働省、各学会指針、所属施設等の方針に沿う

患者準備：車いす バスタオル3枚（座面調整用2又は座面シート・背部補正1）  
カットアウトテーブル 足台1個 タオル1枚 手指消毒用剤

車いす消毒：消毒剤・ペーパータオル

介助者準備：マスク 手袋（ディスポエプロン）

感染リスク有⇒フェイスシールド ゴーグル ガウン

**ポジショニングの実際** 接触・密着を最小限、短時間で実施、チームでトレーニング！  
標準型車いすは移動用。適切なポジショニングを行い、誤嚥リスクを軽減させ、食事の自立支援を！

## まず、車いすの消毒

アームレスト、ブレーキレバー、座面シートなど手に触れる部位全てを消毒する。

患者は食前はマスク着用、手指は石鹸で手洗いを行うか、消毒用のシートなどで拭く

## ＜ポジショニング手順＞

### 1 座面・背面シートのたわみを補正する

- ・車椅子の種類、たわみ状況を確認
- ・バスタオル（端巻きタオル）や座面ベース等でたわみ補正

### 2. 声をかけ、車いすへ移乗する

- ・座面の正中で奥に座るよう調整する
- ・大腿部と座面の接触状況確認、圧抜き、滑り防止
- ・背中に端巻きタオル挿入し体幹を支持（骨盤の後傾予防）

### 3. 足底を接地させる

- ・床に足台を置き、足底を乗せる（嚥下力・咳嗽力強化）
- ・股関節・膝関節・足関節90度にして、踵を少し引く

### 4. 正面を向き、頭頸部は軽度前屈とする（4横指）

- ・上肢がアームに設置できるよう調整（バスタオル等で）
- ・両肩の高さを揃え、軽度前傾姿勢を取る

### 5. 全体を観察し、左右対称的な姿勢をとる

- ・安楽でリラックスした姿勢・姿勢の崩れがあれば修正する
- ・食事に集中できる環境、会話は控える

### 6. テーブルを配置、両上肢を乗せる

- ・介助者は手指衛生・手袋、患者は手指清拭をする
- ・食事が見えて、手が届く位置に配膳する
- ・セルフケアを促す（観察しながらセルフケア向上の工夫）
- ・介助時は対面を避け、顔を近づけすぎず、逆手介助にならない位置とする
- ・長柄スプーンを使用し、食べ物は原則舌正中に入れる

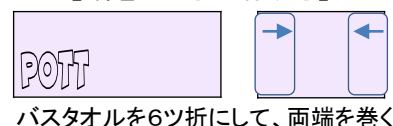
### 7 食事中・後のポジショニング

- ・食事は30分以内 口腔ケアはセルフケアで、唾液など飛沫に注意
- ・終了後は手や顔を拭き、テーブル・車いす、エプロン等消毒する

【座面たわみ補正】



【端巻きタオル作り方】



背部、骨盤の支持



※巻いた方は後側に

足底接地

